

平成 20 年度 政策創薬総合研究推進事業 研究成果等普及啓発事業 研究成果発表会

高度分析評価技術を応用した医薬品製剤開発 および製造工程管理手法の研究

日時 2008 年 12 月 15 日(月) 10:00-17:00

会場 こまばエミナース 大ホール(東京都目黒区大橋 2-19-5)

主催 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団

プログラム

10:00-

- ・高度分析評価技術を応用した医薬品製剤開発および製造工程管理手法の展望

檜山 行雄 国立医薬品食品衛生研究所 薬品部

10:10-11:45

座長 寺田 勝英 (東邦大)

- ・超高速液体クロマトグラフィー (UHPLC) による合成工程のリアルタイム解析
坂本 知昭 国立医薬品食品衛生研究所 薬品部
- ・近赤外分光光度法を用いた凍結乾燥製剤の水分値測定
津田 翼 塩野義製薬 (株)
- ・バイオ医薬品製造における PAT/QbD に関する研究
加藤 泰史 日揮 (株) 第 2PJ 本部

11:45-12:45 昼食

12:45-13:50

座長 塩谷 和史 (参天製薬)

- ・懸濁性点眼剤製造における主薬分散工程のリアルタイム管理手法の応用検討
吉田 征史 参天製薬 (株) 製剤開発センター
- ・微粒子コーティング操作における近赤外分析装置を用いた品質モニタリングの検討
長門 琢也 (株) パウレック 技術本部

13:50-14:55

座長 松永 浩和 (武田薬品)

- ・NIR イメージングシステムを用いた固形製剤の造粒状態の分析及び溶出予測
小出 達夫 国立医薬品食品衛生研究所 薬品部
- ・高精度・識別性を有する溶出評価技術の開発に向けた研究
小林 篤 武田薬品工業 (株)

14:55-15:10 休憩

15:10-16:45

座長 本田 昌徳 (ファイザー)

- ・イメージング技術を用いた製剤処方成分のモニタリング・解析
村田 純一 田辺三菱製薬 (株) CMC 研究センター
- ・エネルギー分散型 X 線分析を用いる錠剤の分析評価
澤 輝 ファイザー (株) 名古屋工場
- ・ステアリン酸マグネシウムの物性と製剤特性への影響に関する研究
米持 悦生 東邦大学 薬学部

参加費： 無料(先着順)

申し込み方法:

E-mail(hs20_ent@nihs.go.jp)または往復はがきにて、HS 研究成果発表会と書き、氏名、所属、連絡先を明記の上、下記宛てまでお申し込みください。(12月10日(水)必着、先着500名まで受け付けます)

<申し込み先・問い合わせ先>

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部内 HS 研究成果発表会事務局 担当/小出

TEL 03-3700-1141(内線 230) FAX 03-3707-6950

E-mail hs20_ent@nihs.go.jp

<http://www.nihs.go.jp/drug/section3/index.html>